

施設定期点検業務仕様書

この仕様書は、富山中央駐車場に設置されている建築物、建築設備及び防火設備について、建築基準法(昭和25年法律第201号)第12条第2項及び第4項に定める点検業務を実施するための大要を示すもので、この他必要と認められる軽易な点検は、適宜実施しなければならない。

1 点検場所

	点検内容	用途	構造	面積(㎡)
富山中央駐車場	建築物・ 建築設備・ 防火設備	駐車場	S-6	5,605.64

2 点検時期

令和9年度、令和12年度にそれぞれ1回実施すること。

3 点検者

建築物点検は一級建築士、二級建築士若しくは特定建築物調査員が行う。

建築設備点検は一級建築士、二級建築士若しくは建築設備検査員が行う。

防火設備点検は一級建築士、二級建築士若しくは防火設備検査員が行う。

4 業務内容

- (1) 上記建築物及び建築設備について、別紙「施設定期点検実施要領」に基づき、点検区分に応じて点検を実施する。
- (2) 点検に先立ち、施設の概要が確認できる点検計画図(配置図、平面図、立面図)を作成(作成済みの場合は、作成済みのものを利用。無いものは作成のこと。)し、防火区画及び点検対象となる建築設備を記載する。点検計画図は、A4で作成するか、A3で作成してA4サイズに折り込む。
- (3) 点検実施後、その結果について、企業局へ報告する。

5 貸与品

必要に応じて、施設の図面を貸与する。

6 提出物

報告時の提出物及び部数は次のとおりとする。(ファイルに綴じること)

- (1) 施設ごとに作成するもの
 - ・「定期点検台帳(総括表)」(様式1).....1部
 - ・「定期点検結果概要書」(様式3).....2部
- (2) 点検対象建築物ごとに作成するもの
 - ・「定期点検台帳(棟別)」(様式2).....1部
 - ・「定期点検票」(様式4).....1部

- ・ 点検結果図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2部
 - ・ 点検写真(写真は100～200万画素とする)・・・・・・・・・・2部
- (3) 点検結果図以外は、電子データでも提出のこと。・・・・・・・・1部
- (4) 提出時期等
- ・ 提出物は片面焼きとし、両面焼きは不可とする。
 - ・ 点検実施後に、全ての電子データをCD-Rにまとめて提出のこと。
 - ・ 台帳、概要書、点検票は、指定された様式とすること。
 - ・ 台帳における「管理者」は、「指定管理者名」を記載のこと。
 - ・ 点検結果図に、×・レ・丸等のシンボルを記載した場合は、凡例を記載のこと。また、シンボルによらない場合は文字にて記載のこと。
 - ・ 点検概要書、点検結果票、点検写真、点検結果図は内容を合致させること。(概要書には写真 No、点検結果図には写真撮影箇所を記載のこと。)
 - ・ 点検写真は、指摘事項を写すこと。
 - ・ 消防、受変電等に関する、点検業者指摘事項は、写しを添付のこと。
 - ・ 前年度、指摘事項が改善されているか、確認すること。
 - ・ 点検台帳(総括表)には、点検対象外の建物も記載のこと。
 - ・ 施設番号は、記入不要とする。
 - ・ 点検計画図に、火気使用室、非常用照明が記載されていない場合は、現地点検時に確認の上、点検結果図に追記し点検計画図を整備すること。
 - ・ 煙感知器連動の防火扉、防煙ダンパーの点検を、専門業者に点検委託していない場合は、指摘事項とすること。